

## 第1分科会〔基礎講座〕④

### 学童保育の生活——大切にしたいこと

講師 佐藤 正美（全国役員・指導員）

世話人 浦中 亜起代（山口・指導員）

#### ○学童保育の役割と学童保育での生活

学童保育は「安心して働きつづけたい」「子どもに豊かな放課後を過ごさせたい」という保護者の切実な願いから生まれました。学童保育は、保護者の就労などにより保育を必要とする小学生の放課後および土曜日や春・夏・冬休みなどの長期休業日の生活を保障することと、保護者が安心して働きつづけること、そしてその家庭を守る役割を担っています。

学童保育は、毎日「ただいま」と学校から帰ってきて放課後を過ごす場です。「生活の場」である学童保育では、遊び・基本的生活に属すること（身のまわりの整理整頓、衣類の調整、衛生管理、おやつ、休息・静養など）、宿題や行事などの取り組み、係・当番活動など、生活全般にかかわるさまざまな活動を行っています。学童保育がその役割を果たすうえで、「出欠席の確認」「一人ひとりの心身の状態を把握すること」「栄養面や活力面を考慮しておやつを提供すること」「子どもたちの安全を守ること」などは欠かすことができません。

指導員には、子どもたちが「安心できる毎日の生活の場」として自らすすんで学童保育に通いつづけられるように、援助することが求められています。ときには、子どもの本当の願いや思いが理解できずに、悩むこともあるかもしれません。うまくいかず、子どもから拒否され、悩み苦しむこともあるかもしれません。指導員が、悩むこと、子どもを受けとめようと努力することは、子どもにとって学童保育が、安心で、心地よい生活の場になることにつながっていくのです。

#### ○生活づくり

私たちは、子ども・指導員・保護者が共に行う、「子ども一人ひとりと、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な営み」を「生活づくり」と呼んで大切にしてきました。これまで私たちが大切にしてきた「生活づくり」の視点・内容は、「放課後児童クラブ運営指針」にも生かされています。生活づくりには、「生活の場」であること、子ども特徴・生活・発達をふまえ、子どもへの働きかけの基本的な視点を押さえることが必要です。

#### ○この講座で学びたいこと

この講座は、新人の指導員（放課後児童支援員・補助員）が多く参加します。前半の講義では、学童保育の役割と指導員の仕事を確認し、大切にしたい生活内容を事例とともにお話します。後半は、学童保育の役割を果たすために、必要なことや生活づくりで大切にしたいことを一緒に考えたいと思います。コロナ禍において、感染対策を取りながらの保育は、苦労や悩みもあるかと思います。子どもの成長発達にとって大事なことは、また心の安心をどのように築いていくのかなどを交流し考えあえたらと思っています。